

## 伝統のバトンを受け継ぎ、未来へ

心地よい春の風と暖かい日差しの中、87名の1年生を迎え、全校児童554名で令和8年度の学校生活が始まりました。

このたび、本校の第36代校長に就任しました 大西 洋（おおにし ひろし）です。昨年度まで5年間は副校長として、本校の子供たちの成長を間近で見守ってきました。今年度、校長として引き続きこの素晴らしい学校に携われることを、身の引き締まる思いとともに、大きな喜びと感じています。

本校は、3月に創立150年という記念すべき大きな節目を迎えました。明治の開校以来、地域・保護者の皆様の深い愛情に支えられ、輝かしい歴史を刻んできた本校の伝統をしっかりと継承しながら、次なる時代へとつないでいきます。

変化の激しいこれからの時代を生きる子供たちにとって、大切なのは「自らの幸せを創り出す力」です。そこで、本年度、「学校に関わる全ての人々が幸せを感じられるウェルビーイング（Well-being）な学校づくり」を学校経営の柱に掲げました。

ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良い状態。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福。多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられるよい状態をいいます。

### ○ 子供にとって

「明日もまた学校に行きたい」と思えるよう、一人一人のよさが認められ、安心して自分を発揮できる環境の中で、生き生きと学び、自己肯定感や自己有用感が高まる学校

### ○ 教職員にとって

質の高い教育へとつなげるために、心身ともに健康で、情熱をもって子供たちと向き合える気持ちよく、働きがいのある学校

### ○ 保護者・地域にとって

学校・家庭・地域が手を取り合い、地域全体で子供を育てる喜びを共有できる関係をつくり、安心して子供を預けられる信頼できる学校

150周年という記念すべき1年を、子供たちが「この学校でよかった」と心から思える誇らしい年にしたいと考えています。さらに、151年、152年そして未来へとウェルビーイング（Well-being）な学校が続くように、副校長時代から築いてきた皆様との絆をさらに深め、全教職員一丸となって教育活動に邁進していきます。引き続き、本校の教育へのご理解とご協力をお願いします。

令和8年4月  
昭島市立拝島第一小学校  
校長 大西 洋